

今、人間を見つめる。

選んできた。
嫌ってきた。
見捨ててきた。

だからこそ、
そんな〈自分〉を見つめてみる。
人間、死と生を見つめる。

親鸞フォーラム

親鸞仏教が開く世界

人間・死と生を見つめる
—今を生ききるために—

パネリスト

鳥越俊太郎

(ジャーナリスト)

竹内整一

(鎌倉女子大学教授・東京大学名誉教授)

蓑輪秀邦

(仁愛大学名誉教授・真宗大谷派教学研究員)

コーディネーター

木越康

(大谷大学准教授)

■日時
二〇一〇年九月十二日(日)

十三時開場・十三時五十分開演
(十六時終了予定)

■会場

六本木アカデミーヒルズ40 キャラントA
(東京都港区六本木6-10-1六本木ヒルズ森タワー40階)

■入場無料

(事前申込による聴講券が必要)

主催 真宗大谷派(東本願寺)
後援 大谷大学



人間・死と生を見つめる —今を生ききるために—



パネリスト

鳥越俊太郎

ジャーナリスト



1940年福岡県生まれ。京都大学文学部(国史学専攻)卒業。毎日新聞入社。新潟支局、大阪本社社会部、東京本社社会部、サンデー毎日編集部。アメリカ・ペンシルバニア州クエーカー、タウンフリープレス紙に職場留学。帰国後、外信部(テヘラン特派員)を経て、サンデー毎日編集長となる。89年同社を退職、同年10月から報道番組「ザ・スクープ」(テレビ朝日系)のキャスターを務める。現在は、「スーパーモーニング」(テレビ朝日系)のコメンテーター、BS朝日「医療の現場」のキャスターを務めるなど、テレビで活躍する傍ら、関西大学で教鞭を執る。「日本記者クラブ賞」「ギャラクシー賞報道活動部門大賞」を受賞。著書に、『本当は知らなかった日本のこと』(ミシマ社)、『人間力の磨き方』(講談社新書)など多数。

竹内整一

鎌倉女子大学教授
東京大学名誉教授



1946年長野県生まれ。東京大学文学部倫理学科卒業、同大学院人文科学研究科博士課程中退。専修大学文学部教授、東京大学教授(大学院人文社会系研究科・文学部)を歴任。2010年 定年退任。現在、鎌倉女子大学教授・東京大学名誉教授。専門は倫理学・日本思想史。日本人の精神の歴史を辿りながら、それが現在に生きるわれわれに、どのように繋がっているのかを探求している。著書に、『日本人は「やさしい」のか』(ちくま新書)、『「おのすから」と「みすから」』(春秋社)、『「はかなさ」と日本人』(平凡社新書)、『日本人はなぜ「さようなら」と別れるのか』(ちくま新書)、『「かなしみ」の哲学』(NHKブックス)など多数。

蓑輪秀邦

仁愛大学名誉教授
真宗大谷派教学研究員



1939年福井県生まれ。京都大学文学部哲学科卒業。真宗大谷派仰明寺前任住職。真宗大谷派教学研究員、仁愛女子短期大学教授、仁愛大学人間学部教授を歴任。キェルケゴールの宗教思想の探究を通して、親鸞の思想に接近。最近では聖徳太子から親鸞へと伝承されてきた仏教の人間観を現代社会のさまざまな問題に即して顕彰する仕事に従事。現在、真宗大谷派教学研究員。著書に、『世自在王仏のみもとへ—宗教心の根源を問う』(法蔵館)、『キェルケゴールと親鸞』(ミネルヴァ書房)、『自分探しの旅へ』、『真宗門徒になる』(東本願寺出版部)など多数。

コーディネーター

木越康

大谷大学准教授



1963年アメリカ・カリフォルニア州生まれ。大谷大学文学部真宗学科卒業。同大学院真宗学科博士後期課程満期退学(真宗学専攻)。私学研修福祉会国内研修員(研修先:東京大学文学部宗教学科)。大谷大学短期大学部助手、大谷大学短期大学部専任講師を歴任。現在、大谷大学准教授。著書(共著)に、『キリシタンが見た真宗』(東本願寺出版部)、『仏教とキリスト教の対話』(法蔵館)、『正像末和讃を読む』(東本願寺大阪教区)など多数。

開催趣旨

今日のグローバル化した世界の資本主義は、飽くなき成長を求めて終わりのない「不死」の運動のように見える。科学や医療技術の発達には人間に多くの恵みをもたらしたものの、一方では「老・病・死」の現実を覆い隠し、人間としての「生」はどこかやせ細っていくように思われる。人間は、「老・病・死」が自分の身に関係していることを知っている。しかし、元気で健康なうちは、それをひとごとのこととしてすませている。

がんになって初めて自分の残りの時間を深く思うようになった。
残りの時間を深く感じると、感性がより鋭敏になって、日常の出来事が非常に愛おしいと思うようになった。

(鳥越俊太郎氏/月刊『同朋』2009年11月号より)

人間であることの限界と無力さ。そのことに気づくこと以外に、人間をとりもどす道はないのではないか。「自己責任」「孤立死」という言葉に象徴される社会。人間は他との繋がりを見失い、自己そのものを喪失しつつある。それは人間に対する過信、自己に対する過信がもたらしたものではないのか。

私たちは、「苦」の現実の中で、「苦」を避けるのではなく、まず、「苦」と向き合うことから始めなければならない。

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌を記念して開催される「第4回親鸞フォーラム」では、「人間・死と生を見つめる—今を生ききるために—」をテーマに、有識者と仏教者のシンポジウムをとおして、私たちは何を真実の依り処として生きるのかを一緒に考えていきたいと思います。

申込方法

必要事項(氏名・住所・電話番号)を電話・FAX・E-mail・ハガキにて、下記申込先にお知らせください。(2010年9月1日必着)
※定員550名(申込多数の場合は抽選とさせていただきます)
なお、結果は後日ハガキにてお知らせいたします。

申込先

〒177-0032 東京都練馬区原 1-3-7
真宗大谷派(東本願寺)真宗会館「親鸞フォーラム」係
TEL: 03-5393-0810 FAX: 03-5393-0814
E-mail: post@prati.info

会場へのアクセス

- 1.「地下鉄日比谷線六本木駅」よりコンコースにて、メトロハットへ。
2. オフジェ広場(66プラザ)を抜けて、アカデミーヒルズのサインに従いお進みください。

